

## 医師の働きかた改革！熊本リハビリテーション病院が LINE WORKS を導入

連携と正確性が求められる医療の現場で、即時的な情報共有を実現  
患者家族の LINE とつながり、ビデオ通話による顔が見えるコミュニケーションも実施

ビジネス現場のコミュニケーションツール「LINE WORKS」を提供する LINE WORKS 株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:増田 隆一)は、社会医療法人令和会 熊本リハビリテーション病院(所在地:熊本県菊池郡、病院長:桑原 公倫、以下 熊本リハビリテーション病院)が「LINE WORKS」を導入したことをお知らせいたします。

# LINE WORKS



社会医療法人令和会

熊本リハビリテーション病院



### ■導入の背景と選定理由

熊本リハビリテーション病院では、院内での情報伝達は主に電話やメール、PHS を利用していましたが、有事の際に院長からの指示や報告を院内の関係者に一斉に伝達でき、迅速に確認できる手段が必要だと考えていました。また、院内の情報共有以外にも、地域連携部には、地域の医療機関と、患者さんやそのご家族からの連絡や相談の電話が 1 日に 100 件近くかかってきます。電話が取れなかった際に後から折り返しても連絡がつかないことも多く、電話対応が大きな業務負荷となっていました。「LINE WORKS」は多くの職員がプライベートで使い慣れている LINE と基本操作が似ており、導入教育をせずともスムーズに定着させることができること、また、ビデオ通話機能が使える点や連携ツールが多い点も評価のポイントとなりました。

# LINE WORKS

## ■導入効果

### 1. グループトークで院内のスピーディな情報連携が実現、プロジェクトやマニュアルをノートでスムーズに情報共有

看護部では、緊急時の電話連絡が「LINE WORKS」のグループトークに置き換わったことで、院長や副院長、関係する各部門長どうしてタイムリーに情報共有することが可能になりました。院長や副院長への報告や指示内容を職員一人ひとりに伝達するといった電話連絡の煩雑さが解消したことで、連絡に要する時間や労力が大幅に削減されました。

事務部では、各プロジェクトチームの議事録や取り組み内容の進捗状況の管理に、ノート機能を活用し、部門横断的なプロジェクトについても事前に議題や関連資料を共有できるため、会議の時間短縮と質の向上を実現しています。また、外来予約やインフルエンザ予防接種予約等の電話受付手順をノートにまとめることで、患者さんの年齢や地域によって異なる案内事項も、ノートを確認しながらスムーズに電話対応ができています。

The screenshot displays three panels from the LINE WORKS interface:

- Left Panel (Management Office 21):** Shows a list of notes under the 'ノート' (Notes) tab. The first note is '令和5年度 インフルエンザ予防接種について' (About the 2023 Influenza Vaccination), followed by '外来に関する外線対応について' (About Outpatient Line Support), '発熱外来まとめ' (Fever Outpatient Summary), 'インフルエンザ予防接種関連' (Influenza Vaccination Related), and 'ノート活用ガイド' (Note Usage Guide).
- Middle Panel (Management Office 21):** Displays a meeting note titled 'DX推進会議議事録' (DX Promotion Meeting Minutes). It includes a table of fees, a list of items to be discussed, and a list of participants.
- Right Panel (DX Promotion Team 12):** Shows a meeting agenda for the 'DX推進会議' (DX Promotion Meeting). It lists items such as '長期署名・電子サインの導入' (Introduction of Long-term Signatures and Electronic Signatures), '申請管理の拡充' (Expansion of Application Management), and '入院受け入れ業務の効率化' (Efficiency Improvement of Inpatient Admission Business).

画像左:事務部のノート一覧、画像中央:インフルエンザ接種に関するノート

発熱外来や外線への対応についての情報を掲載し、折り返しや他の職員へ確認が減少し、電話対応がスムーズになった

画像右:議事録など、会議に関する情報をノートで共有し、いつでも情報を確認できるようになった

# LINE WORKS

## 2. 患者家族の LINE とつながってコミュニケーションが円滑に

地域連携部では、外部トーク連携機能を活用して患者さんのご家族の LINE とつながって連絡をとりあっています。地域連携部の「LINE WORKS」と LINE で連絡がとりあえることを案内する文書をご家族にお渡しし、希望者は QR コードを使って友だち登録を行います。お互いが都合の良いタイミングでメッセージを確認・送信することができ、地域連携部にかかってくる外線電話の数も大幅に減少しました。



入院中の患者さんの様子やリハビリ風景の動画、関係書類などトークで共有できるようになった

患者さんのご家族からは「いつも使っている LINE を使って、自分のタイミングで相談したいことをトークで送信できるので、助かっています」といった感想をいただいております。LINE とつながることができるという強みが活かされています。写真や動画、説明資料なども送信できるため、ご家族も患者の様子を把握しやすくなり、病院に行かずとも資料を手元で確認できるようになりました。

## 3. ビデオ通話で医師が患者の状態を遠隔で把握できる環境を整備、医師の働きかた改革の実現に

以前は、勤務時間外の医師に対して患者に関する質問があった際に、電話での対応のほか、実際に確認しないと対応の判断ができない場合は、勤務時間外でも医師が病院に行くことがありました。現在は、病棟に設置している端末に「LINE WORKS」を導入し、自宅にいる医師とビデオ通話機能で状況を確認できるようになっています。映像を見ながら医師から看護師に必要な指示を出せるようになり、医師が時間外に病院まで行かなくても済むケースが増え、医師の業務負担軽減につながっています。

LINE WORKS 株式会社 WEB サイトにて、熊本リハビリテーション病院へのインタビューを掲載しております。

URL: <https://line-works.com/cases/kumareha/>

今後も LINE WORKS 株式会社は、業務におけるコミュニケーションはもちろん、顧客や取引先など外部の方を含めた情報共有を円滑にし、業務効率向上に貢献する取り組みを進めてまいります。

# LINE WORKS

## 「LINE WORKS」とは

チャットやスタンプはもちろん、掲示板、カレンダー、アドレス帳、アンケートなど、現場で活用できる充実したグループウェア機能を揃えたビジネスチャットです。コミュニケーションアプリ「LINE」のような使いやすさを保ちながら独自に開発・提供を行っており、ユーザーの教育も最小限に導入したその日から誰でもすぐに使えます。PC やタブレットのほか、スマートフォンだけでもほとんどの機能が使えるため、オフィスワークだけでなく、拠点や店舗など PC を使う時間の少ない「現場」での活用が進んでいます。無料版、有料版(スタンダード・アドバンス)があり、無料でもほとんどの基本機能を使うことができ、顧客や取引先など社外とのやりとりにも活用していただけます。

富士キメラ総研「ソフトウェアビジネス新市場 2018～2023 年版」では、2017 年度～2022 年度まで 6 年連続で有料ビジネスチャット国内シェア No.1 を獲得しました。

## ■会社概要

社名: LINE WORKS 株式会社

本社: 東京都渋谷区神宮前 1-5-8 神宮前タワービルディング 11F

設立: 2015 年 6 月

代表者: 代表取締役社長 増田 隆一

資本金: 55 億 2,000 万円

URL: <https://line-works.com/jp/>

※記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。

※本プレスリリース記載の情報は発表日現在の情報です。予告なしに変更されることがありますので、予めご了承ください。